



ケララ州概要

2025年12月
在チェンナイ総領事館

1 基礎データ

- * 州都: テイルヴァナンタプラム
- * 人口: 3, 548万9000人(2021年推計)
- * 面積: 3万8863km²(県(District): 14)

* 識字率: 94. 00%(州別で第1位)

男性: 96. 11%、女性: 92. 07% (2011年)

* 宗教別人口比率: ヒンドゥー教: 54. 73%、イスラム教: 26. 56%、キリスト教: 18. 38% (2011年)

* 主要言語: マラヤラム語

2 政治

(1) 州政府

* 州知事: ラジェンドラ・アーレカル
(Rajendra Arlekar) (2025年1月~)

* 州首相: ピナライ・ヴィジャヤン
(Pinarayi Vijayan) (CPI(M)) (2016年5月~)



ヴィジャヤン州首相

(2) 州議会: 一院制(任期5年、140議席) (2026年4月任期満了)

* 与党: インド共産党マルクス主義派(CPI(M)) 61、インド共産党(CPI)17など

* 野党: コングレス(INC)21、インド連合ムスリム連盟(IUML) 15など

(3) 概況

2021年4月の州議会選挙では、2016年に政権交代を主導したヴィジャヤン州首相率いる与党LDF(左翼民主戦線)が、コングレスを中心とする野党UDF(統一民主戦線)に勝利し、政権を維持。

同州首相は、教育、福祉の増進や災害対応などに力を入れているが、汚職等の疑惑などが噂されるほか、中央政府が任命した州知事と対立を繰り返すなど、難しい舵取りを強いられている。2024年連邦下院総選挙ではBJPが初めて1議席を獲得し、勢力を拡大させており、2026年4月にも実施予定の州議会選挙選挙が注目される。

3 経済

(1) 主要指標

- * 名目州内総生産(GSDP): 12兆4853億ルピー(2024年度)
- * 1人当たり所得: 30万8338ルピー(2024年度)
- * 実質GSDP前年度比成長率: 9. 97%(2024年度)
←9. 30%(2023年度)

(2) 特徴

主要産業はIT、観光、電子機器、繊維、ゴム、食品加工、水産業など。州全体の輸出高の3分の2を食品加工業が占める。

州政府はIT産業振興に注力しており、IT産業集積地として1990年に州南部のティルヴァナンタプラムに「テクノパーク」、2004年に中部のコチに「インフォパーク」、2009年に北部のコジコードに「サイバーパーク」を設置。これら3か所にオラクルやインフォシスなど計800社以上が入居し、10万人以上を雇用。

2007年には起業家支援機関「ケララ・スタートアップ・ミッション」を設立し、スタートアップ企業育成を通じた雇用創出を目指している。2022年は627億ルピーの投資があり、22万人以上の雇用を創出。

中東への出稼ぎ労働者が多く、その送金が州経済を一定程度支えている構図。

産業構成比は第一次産業8%、第二次産業28%、第三次産業64%(2024年度)。

(3) 日系企業の動向

進出日系企業拠点数は113(2024年10月現在)。主な進出企業は新田ゼラチン、日清食品、YKK、テルモなど。

4 在留邦人

- * 在留邦人数: 42人(2025年10月)